

農林中央金庫
慶應義塾

スタンフォード大学と MIT との連携による最先端の授業

大学院システムデザイン・マネジメント研究科

農林中央金庫寄附講座「デザインプロジェクト ALPS」の開設

学校法人慶應義塾（所在地：東京都港区、塾長：安西祐一郎）は、農林中央金庫（所在地：東京都千代田区、代表理事理事長：上野博史）からの支援を受け、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（以下、SDM）の学生を対象に「デザインプロジェクト ALPS」を寄付講座として開設いたします。

2008 年、日本の近代総合学塾として初めて創立 150 年を迎えた慶應義塾は、この記念事業の一環として本年 4 月から、SDM を開設いたしました。

同講座「デザインプロジェクト ALPS (Active Learning Program Sequence)」は、SDM の中核をなすグループプロジェクトであり、Stanford 大学の石井浩介教授と MIT の Olivier L. de Weck 教授を講師に迎え、技術システムから社会システムに至る、あらゆるシステムを総合的にデザインできるリーダーの育成をいたします。

これまでの日本にないその学びの一端をぜひご取材ください。

1. 農林中央金庫寄附講座「デザインプロジェクト ALPS」

Stanford 大学の石井浩介教授、MIT の Olivier L. de Weck 教授との協力のもとに行われる、グループプロジェクトです。1 年を通して合計 6 回のグループワークが行われ、朝から夕方まで行われる集中授業です。今年度は「高齢化社会」を題材としています。Stanford 大学と MIT は米国では様々な連携をしていますが、この 2 大学が日本の大学との 3 大学間で連携したプログラムを本国以外で行うのは、初めてのことです。

(1) ALPS での学習内容

- ①SDM での理論的基盤となる戦略的システムエンジニアリングの学習
- ②チームとしてビジネスあるいは技術開発の場面へ展開できるスキルの学習

(2) ALPS で習得できる内容

- ①顧客の要求の把握
- ②コンセプトの創造と選択
- ③最適化とロバスト化のためのプロダクト・サービスのデザイン
- ④共通プラットフォームに基づくプロダクトファミリーのデザイン
- ⑤不確かさの要素の理解と変化に対応するデザイン
- ⑥プロダクト・サービスの共同デザインとサプライチェーン
- ⑦ビジネスケースの構築
- ⑧正味現在価値に基づく財務分析の実施
- ⑨書類と口頭の両方でデザインプロジェクトの結果を効果的に発表

(3) 授業公開の内容

- ①プロジェクト公開日：2008 年 9 月 25 日(木)～26 日(金)
- ②開催場所：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館 3 階 CDF ルーム
- ③担当教員：(日吉キャンパス)・MIT Olivier L. de Weck 准教授
(日吉キャンパス)・Stanford大学 石井浩介教授
- (4) URL：http://www.sdm.keio.ac.jp/top/alps/index.html

2. SDM の概要

先端技術の発展、ヒト、モノ、情報、マネーの動きが加速度的に早まっている現代、製品やシステムはますます複雑化し、相互の関連性が増しています。この複雑さを考慮し、高度な機能をもちつつ、上質で明快なヒット製品をデザインするのは大変難しく、困難な課題です。したがって、複雑な製品とマーケット相互関係を解析することはすべての産業で必要不可欠なことであり、同時に多くの顧客の要求を、統合化された明白なシステム要求に翻訳する能力も必要です。

SDM は、システム理論の包括的な理解と経営教育を結合し、技術の専門家に経営学修士に相当するシステムズエンジニアリングプログラムを提供します。今日の複雑な開発の背景は、クリティカルなシステム思考を必要としているため、これを培うための能動的で対話的な学習環境を整えアクティブな授業を提供することによって、新時代を切り開いていく人材を育成します。

本研究科の最も大きな特色の一つは、顧客から見た価値（カスタマー・バリュー）と実習とコミュニケーションを重要視していることです。日本語と英語によるプレゼンテーション能力の向上もポイントです。

3. SDMの育成する人材

激変する社会・開発環境においてグローバルで多様な価値観・利害関係に対応し、新しい技術・社会システムを提案・実現するとともに、創造した新規マーケットで事業を先導できる創造的デザイナー（クリエイティブ・システムズ・デザイナー）と複雑・高度・大規模化した技術システムの構想－設計－構築－運用－廃棄のライフサイクル全般について、信頼性が高く革新的な管理運営を行うことができるプロジェクトマネージャ（イノベーター・プロジェクト・リーダー）の輩出を目指します。

4. データ

- (1) 博士課程学生数：男子 26 名 女子 3 名 合計 29 名
- (2) 修士課程学生数：男子 56 名 女子 11 名 合計 67 名
- (3) 教員数：12 名
- (4) 留学生国籍：中国、アメリカ、台湾、イラン

※ご取材の向きは、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室（兒玉・西片）

TEL 03-5427-1541 FAX 03-5441-7640

Email m-koho@adst.keio.ac.jp <http://www.keio.ac.jp/>

農林中央金庫広報部（竹渕・湯山）

TEL 03-5222-2017

<http://www.nochubank.or.jp/>